

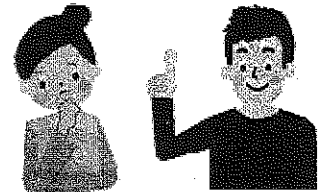
越前市発達支援公開シンポジウム

発達障がいの子どもの年齢期に自分のことを知るとき

—本人への特性の伝え方と周囲への理解の進め方—

発達障がいの子どもの中には、小学校入学後に他の子どもたちと自分が違っていると感じ始める子がいます。そして、その「原因」はどれも自分の中にあるようだと言いつきに気づき、悩み始めることもあります。その場合、「自分とは何者か」という抽象的な社会的命題に定型発達の子どものうちよりむしろ早く、取り組まざる得なくなります。その時、私たち大人が共に歩いていく用意があることを子どもたちにどのように伝えたらよいのでしょうか。自己肯定感を育むためには、いつ、誰が、どのように本人の特性について説明したらよいのでしょうか。また、周囲のクラスメイトや周囲の大人にどのように理解を促し、支援していくとよいのでしょうか。

今回は医療、教育、福祉の実際に発達障がいのお子さんの支援をされている先生方や、お子さんを育てておられる保護者の立場からいろいろなご提案をいただき、講演とパネルディスカッションの二部形式でシンポジウムを進めたいと思います。皆様のご参加お待ちしております。



日時 平成27年8月21日(金) 13:30~16:30 (13:00~受付)

開会のあいさつ 13:30

第1部 講演: 13:40 ~ 14:20

講師 福井県こども療育センター 小児科・児童精神科医 津田明美氏

休憩: 14:20 ~ 14:35 事業所パンフレット、書籍紹介ブース設置しますので、ご覧ください

第2部 パネルディスカッション: 14:35 ~ 16:30

コーディネーター 谷出千代子氏 仁愛大学名誉教授 かこさとしふるさと絵本館館長

パネリスト ① 福井県立南越特別支援学校 教育相談部 教諭 荒木良子氏

② 越前市北日野小学校 教諭 吉村世津子氏

③ 勝山市立成器西小学校 教諭 松村千里氏

④ 福井県発達障害児者支援センタースクラム福井

ペアレントメンター 牧野里美氏

⑤ 福井県こども療育センター 小児科・児童精神科医 津田明美氏

⑥ 越前市児童発達支援センターなないろ 理学療法士 渡辺博子

場所 仁愛大学 A303 (越前市大手町3-1-1)

対象 教員・保育士・施設職員・行政職員・保護者・学生等の子どもの支援に関わる人のほか、このテーマに関心のある人

主催 越前市

後援 仁愛大学

お申し込み期限 8月19日(水)

※参加を希望される方は、電話またはFAXでお申し込み下さい。
FAXでお申し込みの方は、裏面のFAX送信状をご使用下さい。

*環境のため、公共交通機関のご利用や相乗りをお願いいたします。
*託児はありませんので、ご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ

越前市 福祉保健部 子ども福祉課
子ども・子育て総合相談室
TEL: 0778-22-3628
FAX: 0778-24-5885

F A X 送 信 状

(このまま FAX 送信してください)

送 信 者

越前市福祉保健部子ども福祉課

子ども・子育て総合相談室 宛

FAX 0778-24-5885

お名前または
所属機関名

T E L:

参加申込書

お 名 前	※いずれかに○ をつけて下さい	ご 住 所 (※関係者の方は職種)	お子さんの年齢
	保護者等 関係者 その他		才
	保護者等 関係者 その他		才
	保護者等 関係者 その他		才
	保護者等 関係者 その他		才
	保護者等 関係者 その他		才

◎今回のテーマ「発達障がいの子どもの年齢期に自分のことを知るとき」についてのお悩みやご質問等がございましたら、ご記入ください。

※時間の都合等により、当日取り上げのご質問等については限りがございますのでご了承ください。